



# 戸田ヶ原 リポート

今回はサクラソウの開花や  
野草園の状況についてご報告します。



## 今年もサクラソウが咲きました！ ～1号地のサクラソウ開花報告～

昨秋の台風の影響が心配されていた1号地のサクラソウですが、今年も無事に開花しました。例年より1週間早い、3月13日に開花が確認されています。4月に実施したサクラソウ調査の結果、推定21,000株が生育し、5,500株以上の花が咲いたことが分かりました。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、緊急事態宣言が発令されたため、公園は利用中止となっていました。サクラソウの見頃の時期に皆さんに見ていただけず、大変残念でしたが、また来年の春、満開のサクラソウでお花見ができることを願っています。

現在の1号地は、ぐんぐんとオギが伸びて夏らしくなってきました。ぜひ、夏景色の1号地に遊びに来てください。



伸びたオギは、暑さに弱いサクラソウを強い夏の日差しから守ってくれます。

## 戸田ヶ原野草園 現在の様子

1号地と同様に、昨秋の台風で冠水し、泥の堆積などがみられた戸田ヶ原野草園。今春に行ったモニタリング調査では、ハンゲショウなど順調に育っているものも見られました。今後も調査結果を受けて、引き続き移植などの取組みを進めていきます。



花が咲く時期に、葉の一部が白くなるハンゲショウ。順調に生育し、ちょうど見頃を迎えています。



淡い紫色の花が美しいチョウジソウ。花を横から見ると「丁」の字に見えるため、「丁字草」と名付けられたという説があります。

1号地、野草園ともに、戸田ヶ原サポーターの皆さまの協力のもと、管理作業を行っています。興味のある方はぜひお問い合わせください！  
 (7月の活動予定は裏面をご覧ください。)



※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、来園の際は、体調管理、マスクの着用、手洗い、ソーシャルディスタンス(2m)にご協力ください。

# 戸田ヶ原 生きもの通信

このコーナーでは、戸田ヶ原の「旬」な生きものをご紹介します。

## カワセミの繁殖を確認！

彩湖・道満グリーンパークの観賞池に造ったカワセミの子育て用の土の崖で、今年の4月初めにカワセミが巣穴を掘り、繁殖を行いました。崖で巣作りをするのは、およそ2年ぶりになります！

崖にカメラを設置したところ、何度も巣穴を出入りするカワセミの姿が撮影されていました。オスとメスが交代で卵をあたため、ヒナが生まれた後は、エサの魚を与えていたと見られます。残念ながら、途中でヒナがヘビに襲われてしまい、今回の繁殖は失敗してしまったようです。



止まり木にとまるカワセミ



巣穴に入るカワセミ (2018年)

## ミドリシジミ舞う戸田ヶ原をめざして

ミドリシジミの幼虫は、5月下旬ごろにハンノキの幹を伝って樹から降り、落ち葉の下でサナギとなって、6月に成虫へ羽化します。そのため、樹の下に十分な落ち葉がないと、サナギに成長できなくなってしまいます。

これまでの調査で、彩湖・道満グリーンパーク隣の荒川彩湖公園のハンノキで、ミドリシジミの成虫が確認されています。彩湖全体にミドリシジミの育つ環境を広げていくために、公園指定管理者のさいたま市公園緑地協会にご協力をお願いし、落ち葉や下草を残す管理を実施いただきました。今後も様々な団体と協力し、ミドリシジミを守る取り組みを進めていきます。



ハンノキの根元の下草を刈り残したようす



ミドリシジミの幼虫(上)と成虫(下)

## 戸田ヶ原サポーター活動予定

7月から下記の日程で再開予定です。

※天候等により、日程は変更になる場合があります。

### <1号地>

7月21日(火)、9月15日(火) 9時～11時頃

内容：外来植物の抜き取り、  
園路沿いのオギの管理

### <戸田ヶ原野草園>

7月28日(火)、9月29日(火) 9時～11時頃

内容：野草まわりの草刈り

参加希望・お問い合わせは  
(公財)戸田市水と緑の公社 まで

## ～4月・5月の保全管理作業の様子～



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月～6月は戸田ヶ原サポーターの参加による活動は中止しました。サクラソウなど野草を守り増やすためにこの時期に必要な管理は、戸田ヶ原自然再生推進連絡会議委員と事務局にて実施しました。



JR埼京線またはJR武蔵野線  
武蔵浦和駅より「下笹目 行」バス乗車  
「彩湖・道満グリーンパーク入口」  
下車徒歩13分

JR埼京線 北戸田駅より  
tocoバス美笹循環乗車  
「道満」下車徒歩12分



戸田ヶ原自然再生キャラクター  
とだみちゃん

